

H25. 8. 17

恥ずかしい失敗談

Dr.

和の町医者日記

「お薬」シリーズ②

猛烈に暑い毎日ですが、熱中症に気を付けてください。さて今回は、薬に関する失敗談を書きます。

先日、ある高齢者に爪水虫の薬と睡眠薬の2種類のお薬を処方しました。爪水虫の薬は、塗り薬ではなくて飲み薬です。しかし、その30分後に調剤薬局の薬剤師から電話がかかってきました。「この2つの組み合わせは、危ないですよ」

薬剤師から医師への問い合わせを「疑義照会」といいます。その水虫の薬の血液中の



長尾和宏 (ながお・かずひろ) 東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る、総合診療を目指す。医学博士。近著「平穩死・10の条件」「胃ろうという選択、しない選択」はいずれもベストセラー。関西国際大学客員教授。55歳。

飲み合わせを薬剤師に聞く

に転倒の可能性があったかも。娘さんに再度来ていただき、睡眠薬か水虫かの二者択一をお願いしました。その結果、水虫の飲み薬をあきらめたことになりました。院外処方だったので「疑義照会」があり大事に至りませんでした。次は普段よく使っている風邪薬での失敗談。ある総合感胃薬を処方した翌日に「おしっこが出ない」と高齢男性が訴えて来られました。下腹部を触ると、膀胱がパンパンに張っています。細い管で導尿すると、1センチもの尿が出てきました。膀胱までは尿が来ているのですが、その先が総合感胃薬の副作用で出ない状態でした。医学的には「抗コリン剤による尿閉」を起こしています。その総合感胃薬は前立腺肥大症の人に使用してはいけなかったのです。同様に緑内障の人にも使用禁止です。もちろん程度にもよるし、その人の感受性もあります。しかしそんな大原則を、つい忘れていたのです。さて、あまりにも有名なやつてはいけない「薬と食べ物

の組み合わせを薬剤師に聞く からで、降圧剤が予想以上に効きすぎてしまう場合があります。薬を飲む前後4時間はジュースを飲まないほうがいい。もう1つは、納豆がワーファリンの効き目を弱めてしまう話も有名です。ワーファリンは、心房細動や心臓弁膜症の手術後の患者さんが飲まれています。納豆は、ビタミンKを多く含むので薬の効き目を弱めます。また納豆菌が腸

薬剤師 医師の処方箋に従って薬を調合し、患者に薬や服用方法について説明する人または資格。薬剤師法で定められた国家資格で、厚生労働省による薬剤師試験の受験資格には、大学で薬学の正規の課程を修めて卒業した者などの制限がある。平成22年末現在の全国の届け出薬剤師数は27万6517人。男性10万8068人(総数の39・1%)、女性16万8449人(同60・9%)と圧倒的に女性が多い。

「飲み合わせ」を2つほど紹介しましょう。1つは、降圧剤とグレープフルーツジュースの飲み合わせです。カルシウム拮抗剤と呼ばれるグループの降圧剤は、グレープフルーツジュースと一緒に飲むはいけません。ジュースの渋みの成分が薬を分解する酵素を阻害する

医師が併用注意をすべて覚えることはできません。私はそんな時、まず薬剤師に相談します。薬の飲み合わせや食べ物との組み合わせは医師ではなく、薬剤師に聞いてください。このように医薬分業、院外処方を上手に使いましょう!

最後にありますが、7月31日に「がんの花道」(小学館)という新書が出ました。がん患者さんのご家族に向けたメッセージがいっぱい詰まっています。よろしければ読んでください。